

「よのなか教室」 水永正憲先生

《期日》 平成28年2月3日（水） 3校時 10:30～11:20

《対象》 7年生

《目的》○ 水永先生の話聞くことで、「働くこと」について向き合い、「生きること」「働くこと」について自分なりの考えをまとめ、これからの生活に活かす。

《事前の活動》○ 「君たちはどう生きるか」（吉野源三郎著）を読み、印象に残った場面について意見交換をする。

○ 意見交換をもとに、「生きること」についての自分の考えを作文に書く。

《当日の活動》① 代表生徒が「生きること」について考えた作文を発表する。

② 水永先生から作文についてのコメントをいただく。

③ 講話「働くとは」

《事後の活動》○ 講話からの学びを「学習の記録」にまとめ、今後の生活に活かす。



☆「よのなか教室」(水永正憲さん) 感想 ☆

1 活動を通しての学び

○ ぼくは、水永さんの話で心に残ったのは「失敗して学ぶ」ということです。ぼくはその時、エジソンを思い出しました。きっとエジソンも、何回も何回も失敗して、電気を開発して、今があると思います。ぼくは、今まで失敗は恥だ感じていました。しかし、それが成功のためになると考えると、失敗を恐れたらいけないなと思いました。「君たちはどう生きるか」という本もすごく良かったです。

ぼくは今回の学習で、少し、将来の見通しがついてきたと思います。ぼくにはまだ、ちゃんとした夢がないです。しかし、大人になるための生き方は、今回の授業で見通しがつけられたので、どんな大人になるか、さらに考えていきたいです。

○ ぼくは今回の学習を通して、苦痛を経験した後に良いことがあるのではなく、楽しいことをして脳を活性化した方が良いというという話を聞いて、自分の考えを見直す機会になりました。確かに人生は楽しいことばかりではなく、苦しいことも時にはあります。しかし、その苦しいことでさえ、楽しくポジティブに考えることこそが大切だと知りました。また一步、社会人に近づけたと思います。

ぼくは、努力すれば何でもできると思っていました。しかし、大切なのは努力だけではなく、その取り組む仕事を大好きになること。今のぼくにとって、欠けているものでした。勝って反省、負けて感謝という言葉の頭にたたきこんでおきたいと思います。

○ 今回の学習を通して学んだことは、将来、人のためになるようなことをするという事です。自分がどれだけ頑張っても、どれだけ苦労しても、人に喜んでもらえないとやはり楽しくないし、その仕事をする意味がないと思うので、将来、仕事につく時は、好きなこと、得意なこと、人に喜んでもらえることを生かせる仕事につきたいと思います。「栄光より挫折、勝利より敗北、成功より失敗」という言葉が1番心に残りました。勝つことや成功することを先に考えるのではなく、その途中の過程が大事なんだなと思いました。

○ わたしはこれまで、自分はどう生きればいいのか、どんな仕事をすればいいのかと考えるだけで、答えを導いたことはなく、だらだらと過ごしてきました。今回、水永さんから話の中で、野球の監督が言っていた「栄光より挫折、勝利より敗北、成功より失敗」という言葉が特に印象に残りました。プライドが無くて、ほぼ負けてもいいやと今までは思ってきました。でも、この言葉を聞いて、負けてもいいやではなく、負けるのも経験と思い直しました。

わたしはこれから、自分のやりたいように人生を進みたいです。一生をかけても、自分の好きなことや得意なことを仕事にしていきたいです。

この講義で得たことを、これからも心に刻みます。

2 出会った方からの学び

○ 水永さんのお話は、とても心に響くようなことばかりでした。やっぱり、経験って大事なんだなと思いました。これからたくさんの経験をしていきたいなと思いました。

○ たとえの出し方が上手くて、物事を客観的に見られる人なんだと思いました。わたしは主観的にしか見られないので、客観的に見られるようになりたいです。